

V 調査結果から見える課題等(クロス集計結果から)

ひきこもりの人の年齢とひきこもりの原因から見えてくる課題

民生委員児童委員と福祉専門職のアンケート結果から10歳代、20歳代では「不登校」がひきこもりの原因になっている傾向にあることが相関分析からわかりました。また、30歳代では「大学に馴染めなかった」と「就職活動でのつまずき」など新しい環境に馴染めなかったことがひきこもりの原因になっている傾向にあります。60歳代では、「病気」がひきこもりの原因に挙がっています。加齢とともに支援が困難になっていくため、早期の発見・支援につながる事が重要です。

[設問間クロス集計]

表側：該当者とあなたは直接連絡ができますか(訪問・電話・メール・LINE など)

表頭：該当者の年齢

[民生委員・児童委員]

	全体	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
全体	人数(人) 124 割合(%) 100	9 7.3	11 8.9	24 19.4	25 20.2	29 23.4	10 8.1	6 4.8	10 8.1
不登校(小・中・高等学校)	人数(人) 18 割合(%) 100	5 27.8	6 33.3	4 22.2	2 11.1	0 0	1 5.6	0 0	0 0
大学に馴染めなかった	人数(人) 5 割合(%) 100	0 0	0 0	4 80.0	1 20.0	0 0	0 0	0 0	0 0
職場に馴染めなかった	人数(人) 18 割合(%) 100	0 0	0 0	5 27.8	6 33.3	6 33.3	0 0	0 0	1 5.6
受験の失敗	人数(人) 1 割合(%) 100	0 0	0 0	0 0	0 0	1 100	0 0	0 0	0 0
病気	人数(人) 16 割合(%) 100	0 0	1 6.3	0 0	3 18.8	6 37.5	3 18.8	2 12.5	1 6.3
人間関係(友人、家族、同僚等)	人数(人) 32 割合(%) 100	2 6.3	2 6.3	6 18.8	7 21.9	7 21.9	2 6.3	4 12.5	2 6.3
就職活動でのつまずき	人数(人) 9 割合(%) 100	0 0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0	0 0
無回答	人数(人) 53 割合(%) 100	3 5.7	4 7.5	10 18.9	9 17.0	14 26.4	4 7.5	2 3.8	7 13.2

[福祉専門職]

	全体	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
全体	人数(人) 60 割合(%) 100	4 6.7	2 3.3	4 6.7	15 25.0	21 35.0	7 11.7	5 8.3	2 3.3
不登校	人数(人) 6 割合(%) 100	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
受験の失敗	人数(人) 0 割合(%) 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
就職できなかった	人数(人) 4 割合(%) 100	0 0	0 0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0	0 0
失業	人数(人) 2 割合(%) 100	0 0	0 0	0 0	0 0	2 100	0 0	0 0	0 0
家庭や家庭環境の問題	人数(人) 10 割合(%) 100	0 0	1 10.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	0 0	0 0	0 0
疾病や性格など本人の問題	人数(人) 17 割合(%) 100	1 5.9	0 0	2 11.8	3 17.6	6 35.3	1 5.9	4 23.5	0 0
わからない(知らない)	人数(人) 21 割合(%) 100	1 4.8	0 0	0 0	8 38.1	7 33.3	4 19.0	0 0	1 4.8
その他	人数(人) 13 割合(%) 100	1 7.7	1 7.7	0 0	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7	0 0
無回答	人数(人) 1 割合(%) 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 100

は表側の項目で最も割合の高いもの

は有意差があるもの(は有意水準1%、は有意水準5%)

ひきこもりの人の年齢とひきこもりの期間から見えてくる課題

10歳代は年齢との関係もあり、ひきこもりの期間は5年以下が多くなっています。40歳代と50歳代においては、ひきこもりの期間が分散しており、前頁の表にみられるようにひきこもりの原因も多様になっています。

8050問題に挙げられるように壮年層のひきこもりを予防するためにも早い段階での介入・支援が求められます。

[設問間クロス集計]

表側: 該当者の年齢

表頭: ひきこもりの期間

[民生委員・児童委員]		全体	1年未満	1～3年未満	3～5年	6～10年	11年～15年	16年～20年	20年以上	不明	無回答
全体	人数(人)	124	3	7	13	28	14	7	13	24	15
	割合(%)	100	2.4	5.6	10.5	22.6	11.3	5.6	10.5	19.4	12.1
10～19歳	人数(人)	9	1	3	3	0	0	0	0	0	2
	割合(%)	100	11.1	33.3	33.3	0	0	0	0	0	22.2
20～29歳	人数(人)	11	0	0	1	6	1	0	0	2	1
	割合(%)	100	0	0	9.1	54.5	9.1	0	0	18.2	9.1
30～39歳	人数(人)	24	1	0	2	9	5	1	1	1	4
	割合(%)	100	4.2	0	8.3	37.5	20.8	4.2	4.2	4.2	16.7
40～49歳	人数(人)	25	0	0	4	3	6	1	3	7	1
	割合(%)	100	0	0	16.0	12.0	24.0	4.0	12.0	28.0	4.0
50～59歳	人数(人)	29	0	0	1	7	2	4	4	10	1
	割合(%)	100	0	0	3.4	24.1	6.9	13.8	13.8	34.5	3.4
60～64歳	人数(人)	10	0	1	0	2	0	1	4	1	1
	割合(%)	100	0	10.0	0	20.0	0	10.0	40.0	10.0	10.0
65歳以上	人数(人)	6	1	2	1	0	0	0	0	1	1
	割合(%)	100	16.7	33.3	16.7	0	0	0	0	16.7	16.7
無回答	人数(人)	10	0	1	1	1	0	0	1	2	4
	割合(%)	100	0	10.0	10.0	10.0	0	0	10.0	20.0	40.0

[福祉専門職]		全体	1年未満	1～3年未満	3～5年	6～10年	11年～15年	16年～20年	20年以上	不明	無回答
全体	人数(人)	60	2	10	4	3	7	3	8	21	2
	割合(%)	100	3.3	16.7	6.7	5.0	11.7	5.0	13.3	35.0	3.3
10～19歳	人数(人)	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0
	割合(%)	100	0	75.0	0	25.0	0	0	0	0	0
20～29歳	人数(人)	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	割合(%)	100	0	0	0	0	50.0	0	50.0	0	0
30～39歳	人数(人)	4	0	0	0	1	2	0	0	1	0
	割合(%)	100	0	0	0	25.0	50.0	0	0	25.0	0
40～49歳	人数(人)	15	0	3	1	0	1	1	0	9	0
	割合(%)	100	0	20.0	6.7	0	6.7	6.7	0	60.0	0
50～59歳	人数(人)	21	0	1	2	1	3	2	4	7	1
	割合(%)	100	0	4.8	9.5	4.8	14.3	9.5	19.0	33.3	4.8
60～64歳	人数(人)	7	1	0	0	0	0	0	3	3	0
	割合(%)	100	14.3	0	0	0	0	0	42.9	42.9	0
65歳以上	人数(人)	5	1	3	1	0	0	0	0	0	0
	割合(%)	100	20.0	60.0	20.0	0	0	0	0	0	0
無回答	人数(人)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	割合(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	50.0	50.0

は表側の項目で最も割合の高いもの

は有意差があるもの(は有意水準1%、は有意水準5%)

ひきこもりの人の家族構成と予想される困りごとから見えてくる課題

民生委員児童委員と福祉専門職のアンケート結果から予想される困りごとで多いのが「家族の精神的負担」と「地域からの孤立」になります。また、民生委員児童委員のアンケート結果から家族と同居している場合は「家族の精神的負担」、一人暮らしの場合は「地域からの孤立」が多い傾向にあることがわかります。

家族とひきこもりの人の双方の支援の重要性がうかがえます。

[設問間クロス集計]

表側：該当者の家族

表頭：予想される困りごと

[民生委員・児童委員]		全体	家族の精神的負担	生活困窮	地域からの孤立	家庭内暴力	その他	無回答
全体	人数(人)	124	49	19	53	6	10	32
	割合(%)	100	39.5	15.3	42.7	4.8	8.1	25.8
同居家族あり	人数(人)	93	47	15	36	6	8	21
	割合(%)	100	50.5	16.1	38.7	6.5	8.6	22.6
一人暮らし	人数(人)	22	2	4	17	0	2	2
	割合(%)	100	9.1	18.2	77.3	0	9.1	9.1
無回答	人数(人)	9	0	0	0	0	0	9
	割合(%)	100	0	0	0	0	0	100

[福祉専門職]		全体	家族の精神的負担	生活困窮	地域からの孤立	家庭内暴力	その他	無回答
全体	人数(人)	60	33	17	29	5	11	4
	割合(%)	100	55.0	28.3	48.3	8.3	18.3	6.7
同居家族あり	人数(人)	56	31	15	27	5	11	4
	割合(%)	100	55.4	26.8	48.2	8.9	19.6	7.1
一人暮らし	人数(人)	3	1	2	2	0	0	0
	割合(%)	100	33.3	66.7	66.7	0	0	0
無回答	人数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	割合(%)	100	100	0	0	0	0	0

は表側の項目で最も割合の高いもの

有意差があるもの(有意水準1%)

VI 巻末資料

調査票

【民生委員児童委員】

東広島市ひきこもりに関する調査票（民生委員児童委員調査）

【ひきこもりとは】

この調査では、**概ね15歳から64歳まで**の方で、社会的参加（仕事、学校、家庭以外の人との交流など）ができない状態が概ね6か月以上続いていて、次のいずれかに該当する方を指します。

- ① 自宅にひきこもっている状態
- ② 時々買い物などで外出することがある

※**重度の障害、疾病、高齢等の影響によって外出が困難な方は除きます。**

問1 あなたの担当する地区名を○で囲んでください。

・西条北 ・西条南 ・八本松 ・志和 ・高屋 ・黒瀬 ・豊栄 ・福富 ・河内 ・安芸津

問2 ひきこもり等の現状についてお尋ねします。**直近2年以内**で、あなたの受け持ち地域で、ひきこもりの方はいますか。該当する項目を○で囲んでください。

ア いる ⇒ 問3へお進みください。 イ いない ⇒ 問4へお進みください。

問3 **上の問2で「ア いる」とした方だけにお聞きします。**

(1) ひきこもりの方を何世帯、何人把握しておられますか

() 世帯 () 人

(2) ひきこもりの方への支援で困っていることはありますか。該当する項目を○で囲んでください。

※複数回答可

- ア 関わることを拒否される
- イ 自分だけでは対応できないと感じる
- ウ ひきこもりに関する知識や支援方法が分からない
- エ どこに相談したら良いか分からない
- オ 市などの相談支援機関に相談したが、十分に対応してもらえない。
- カ 家族が隠している・話してくれない
- キ 困りごとはない
- ク その他 ()

問4 **全員にお聞きします。**ひきこもり等に関する支援策で必要と思われる項目を**3つまで**○で囲んでください。

- ア 個別かつ長期的に訪問等でひきこもりの人やその家族に関わることができる支援
- イ 関係機関同士の情報共有や連携の強化
- ウ 支援する側の知識や技術向上のための研修の機会
- エ 身近なひきこもり相談窓口の設置と周知
- オ ひきこもりの人の家族へのサポート
- カ ひきこもりの人が社会参加できる機会や場を増やすこと
- キ ひきこもりの人への生活訓練や社会復帰にむけた訓練等の支援の充実
- ク ひきこもりに関する一般住民への正しい理解と知識の普及
- ケ ひきこもり当事者会の開催
- コ ひきこもり家族会の開催
- サ その他 ()

⇒ 裏面につづく

問5 **全員にお聞きします。** ひきこもりについて相談ができる機能のある市内の機関として、次の窓口を知っていますか。該当する項目を○で囲んでください。※複数選択可

- ア 地域包括支援センター
- イ 生活支援センター
- ウ HOT けんステーション
- エ 医療保健課
- オ 子育て・障害者総合支援センター（はあとふる）
- カ 広島県西部東保健所
- キ 児童青少年センター
- ク 社会福祉協議会

問6 **全員にお聞きします。** ひきこもり支援について、課題だと感じていることや、ご意見があれば記入してください。

(自由記述)

- ・問2で「**ア いる**」とした方は別紙「個別調査票(A3サイズのもの)」へお進みください。
- ・問2で「**イ いない**」とした方については、調査はここまでです。ありがとうございました。

【民生委員児童委員(個別調査)】

【個別調査】この票は、民生委員児童委員調査の間、福祉専門職調査の間3で「ア.いる」と回答した方のみ対象です。直近2年以内(概ね15～64歳)について回答してください。
 分からない項目はとばしてください。また、ひきこもり該当者の氏名は書かなくてください。

質問項目	該当者Aさん	該当者Bさん	該当者Cさん	該当者Dさん	該当者Eさん
① 該当者の性別	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明
② 該当者の居住地	西条北・西条南・八本松・志和 高尾・黒瀬・豊栄・福富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高尾・黒瀬・豊栄・福富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高尾・黒瀬・豊栄・福富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高尾・黒瀬・豊栄・福富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高尾・黒瀬・豊栄・福富・河内 安芸津
③ 該当者の年齢	(40) 歳くらい	() 歳くらい	() 歳くらい	() 歳くらい	() 歳くらい
④ 該当者とあなたの業務(活動)との関係	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である
⑤ 該当者とあなたは直接連絡がとれますか(訪問・電話・メール・LINE など)	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない
⑥ 該当者の家族 ※「ア.同居家族あり」の場合は家族すべてに「○」	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし ○ 父親 ○ 母親 ○ 祖父 ○ 祖母 ○ 兄弟姉妹 ○ 配偶者 ○ 子 ○ ○ 親せき ○ その他 ()	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし ○ 父親 ○ 母親 ○ 祖父 ○ 祖母 ○ 兄弟姉妹 ○ 配偶者 ○ 子 ○ ○ 親せき ○ その他 ()	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし ○ 父親 ○ 母親 ○ 祖父 ○ 祖母 ○ 兄弟姉妹 ○ 配偶者 ○ 子 ○ ○ 親せき ○ その他 ()	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし ○ 父親 ○ 母親 ○ 祖父 ○ 祖母 ○ 兄弟姉妹 ○ 配偶者 ○ 子 ○ ○ 親せき ○ その他 ()	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし ○ 父親 ○ 母親 ○ 祖父 ○ 祖母 ○ 兄弟姉妹 ○ 配偶者 ○ 子 ○ ○ 親せき ○ その他 ()
⑦ ひきこもりの状況 ※どちらかに「○」	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出
⑧ ひきこもりの期間 ※どれかひとつに「○」	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明
⑨ ひきこもりになったきっかけ ※複数選択可	ア. 不登校 (小・中・高等学校) イ. 大学に馴染めなかった ウ. 職場に馴染めなかった エ. 受給の失敗 オ. 病気 カ. 人間関係 (友人や家族) キ. 就職活動でつまずき ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 不登校 (小・中・高等学校) イ. 大学に馴染めなかった ウ. 職場に馴染めなかった エ. 受給の失敗 オ. 病気 カ. 人間関係 (友人や家族) キ. 就職活動でつまずき ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 不登校 (小・中・高等学校) イ. 大学に馴染めなかった ウ. 職場に馴染めなかった エ. 受給の失敗 オ. 病気 カ. 人間関係 (友人や家族) キ. 就職活動でつまずき ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 不登校 (小・中・高等学校) イ. 大学に馴染めなかった ウ. 職場に馴染めなかった エ. 受給の失敗 オ. 病気 カ. 人間関係 (友人や家族) キ. 就職活動でつまずき ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 不登校 (小・中・高等学校) イ. 大学に馴染めなかった ウ. 職場に馴染めなかった エ. 受給の失敗 オ. 病気 カ. 人間関係 (友人や家族) キ. 就職活動でつまずき ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない
⑩ 支援状況(現時点) ※複数選択可	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他 ()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他 ()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他 ()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他 ()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他 ()
⑪ ⑩の情報をご存知でしたか ※複数選択可	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他 ()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他 ()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他 ()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他 ()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他 ()

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。今後の連携のため、差し支えなければあなたの氏名の記載をお願いします。(※記載は任意です。)

【福祉専門職】

東広島市ひきこもりに関する実態調査票（福祉専門職調査）

【ひきこもりとは】

この調査では、**概ね 15 歳から 64 歳まで**の方で、社会的参加（仕事、学校、家庭以外の人との交流など）ができない状態が概ね 6 か月以上続いていて、次のいずれかに該当する方を指します。

- ① 自宅にひきこもっている状態
- ② 時々買い物などで外出することがある

※重度の障害、疾病、高齢等の影響により外出が困難な方は除きます。

問1 あなたの事業所の所在地を○で囲んでください。

・西条北 ・西条南 ・八本松 ・志和 ・高屋 ・黒瀬 ・豊栄 ・福富 ・河内 ・安芸津

問2 あなたの職種を教えてください。（従事している比率が一番高いものをひとつ回答）

・介護支援専門員 ・医療ソーシャルワーカー ・保健師 ・相談支援専門員 ・介護福祉士
・社会福祉士 ・看護師 ・精神保健福祉士 ・その他（ ）

問3 ひきこもり等の現状についてお尋ねします。**直近2年以内**であなたの支援対象者又はその家族に、ひきこもりの方はいますか。該当する項目を○で囲んでください。

ア いる ⇒ 問4へお進みください。
イ いない ⇒ 問5へお進みください。

問4 **（問3で「ア いる」とした方にお聞きします。）**

(1) ひきこもりの方を何世帯、何人把握しておられますか。

() 世帯 () 人

(2) こうした世帯等への支援で困っていることはありますか。該当する項目を○で囲んでください。※複数回答可

ア 支援対象者ではないので関わるできない
イ ひきこもりに関する知識や支援方法が分からない
ウ 関わることを拒否される、情報をもらえない
エ どこに相談したら良いか分からない
オ 自分だけでは対応できないと感じる
カ 市などの相談支援機関に相談したが、十分に対応してもらえない。
キ 困りごとはない
ク その他（ ）

⇒ 裏面につづく

問5 全員にお聞きします。あなたが、ひきこもり等に関する支援策で必要だと思う項目を3つま
で○で囲んでください。

- ア 個別かつ長期的に訪問等でひきこもりの人やその家族に関わることができる支援
- イ 関係機関同士の情報共有や連携の強化
- ウ 支援する側の知識や技術向上のための研修の機会
- エ 身近なひきこもり相談窓口の設置と周知
- オ 障害福祉サービス等が使いやすくなること
- カ ひきこもりの人の家族へのサポート
- キ ひきこもりの人が社会参加できる機会や場を増やすこと
- ク ひきこもりの人への生活訓練や社会復帰にむけた訓練等の支援の充実
- ケ ひきこもりに関する一般住民への正しい理解と知識の普及
- コ ひきこもり当事者会の開催
- サ ひきこもり家族会の開催
- シ その他 ()

問6 全員にお聞きします。ひきこもりについて相談ができる機能のある市内の機関として、次の
窓口を知っていますか。知っているものを○で囲んでください。 ※複数選択可

- ア 地域包括支援センター
- イ 生活支援センター
- ウ HOT けんステーション
- エ 医療保健課
- オ 子育て・障害者総合支援センター（はあとふる）
- カ 広島県西部東保健所
- キ 児童青少年センター
- ク 社会福祉協議会

問7 ひきこもり支援について、課題だと感じていることや、ご意見があれば記入してください。

(自由記述)

・問3で「ア いる」とした方は別紙「個別調査票(A3サイズのもの)」へお進みください。

・問3で「イ いない」とした方については、調査はここまでです。ありがとうございました。

【調査にご協力頂いた皆様へ】

ご協力頂きありがとうございました。東広島市地域共生推進課では、ひきこもり者がいると思われる世帯等への支援調整を実施しています。あなたが関わっている世帯で支援が必要と思うケース・その他ご相談があれば、次のメールアドレスか電話番号にご連絡ください。相談頂いた情報については支援以外の目的では使用いたしません。

担 当 東広島市役所 健康福祉部 地域共生推進課 (HOT けんステーション)

メール hottoken.st@city.higashihiroshima.lg.jp

電 話 082-493-5621

【福祉専門職(個別調査)】

【個別調査票】この票は、民生委員児童委員調査の間2、福祉専門職調査の間3で「ア、いる」と回答した方のみ対象です。直近の2年以内に把握した人(概ね15～64歳)について回答してください。
 分からない項目はとばしてください。また、ひきこもり該当者の氏名は書かないでください。

質問項目	該当者Aさん	該当者Bさん	該当者Cさん	該当者Dさん	該当者Eさん
① 該当者の性別	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明
② 該当者の居住地	西条北・西条南・八本松・志和 高屋・黒瀬・豊栄・稲富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高屋・黒瀬・豊栄・稲富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高屋・黒瀬・豊栄・稲富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高屋・黒瀬・豊栄・稲富・河内 安芸津	西条北・西条南・八本松・志和 高屋・黒瀬・豊栄・稲富・河内 安芸津
③ 該当者の年齢	(4.0)歳くらい	()歳くらい	()歳くらい	()歳くらい	()歳くらい
④ 該当者とあなたとの業 務(活動)との関係	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である	ア. 支援対象者本人である イ. 支援対象者の家族である
⑤ 該当者とあなたは直 接連絡が出来ますか (LINE・電話・メールなど)	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない	ア. できる イ. できない
⑥ 該当者の家族 ※「ア.同居家族あり」の場 合は家族すべてに「O」	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし [父親・母親・祖父・祖母 兄弟姉妹・配偶者・子・ 親せき・その他()]	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし [父親・母親・祖父・祖母 兄弟姉妹・配偶者・子・ 親せき・その他()]	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし [父親・母親・祖父・祖母 兄弟姉妹・配偶者・子・ 親せき・その他()]	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし [父親・母親・祖父・祖母 兄弟姉妹・配偶者・子・ 親せき・その他()]	ア. 同居家族あり イ. 一人暮らし [父親・母親・祖父・祖母 兄弟姉妹・配偶者・子・ 親せき・その他()]
⑦ ひきこもりの状況 ※どちらかに「O」	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出	ア. ずっと自宅にいる様子 イ. 時々買い物などで外出
⑧ ひきこもりの期間 ※どれかひとつに「O」	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明	ア. 1年未満 イ. 1～3年未満 ウ. 3～5年 エ. 6～10年 オ. 11年～15年 カ. 16年～20年 キ. 20年以上 ク. 不明
⑨ ひきこもりになったきつ かけ ※複数選択可	ア. 不登校 イ. 受給の失敗 ウ. 放課できなかつた エ. 失業 オ. 家庭や家庭環境の問題 カ. 疾病や性格など本人の問題 キ. わからぬ(知らない) ク. その他()	ア. 不登校 イ. 受給の失敗 ウ. 放課できなかつた エ. 失業 オ. 家庭や家庭環境の問題 カ. 疾病や性格など本人の問題 キ. わからぬ(知らない) ク. その他()	ア. 不登校 イ. 受給の失敗 ウ. 放課できなかつた エ. 失業 オ. 家庭や家庭環境の問題 カ. 疾病や性格など本人の問題 キ. わからぬ(知らない) ク. その他()	ア. 不登校 イ. 受給の失敗 ウ. 放課できなかつた エ. 失業 オ. 家庭や家庭環境の問題 カ. 疾病や性格など本人の問題 キ. わからぬ(知らない) ク. その他()	ア. 不登校 イ. 受給の失敗 ウ. 放課できなかつた エ. 失業 オ. 家庭や家庭環境の問題 カ. 疾病や性格など本人の問題 キ. わからぬ(知らない) ク. その他()
⑩ 支援状況(理由)	ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない	ア. 医療機関等の支援あり イ. 行政機関等の支援あり ウ. 民間団体等の支援あり エ. 何の支援も受けていない オ. わからない
⑪ 予想される困りごと ※複数選択可	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他()	ア. 家族の精神的負担 イ. 生活困窮 ウ. 地域からの孤立 エ. 家庭内暴力 オ. その他()
⑫ この情報をどこで知りま したか ※複数選択可	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他()	ア. 該当者の家族からの話 イ. 近所の住民からの話 ウ. 福祉関係者 エ. その他()

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。今後の連携のため、差し支えなければあなたの氏名の記載をお願いします。(※記載は任意です。)

(あの人、困ってるかも。でも…)

ひきこもり

ってどこに相談するの？



東広島市には、

ひきこもり

相談窓口

があります。



お困りの方がいれば、
ぜひご案内ください。
窓口、電話、メール
からご相談できます。

ひきこもり支援窓口

ひがしひろしまHOTけんステーション
(東広島市役所地域共生推進課内)

☎ 082-493-5621

✉ hottoken.st@city.higashihiroshima.lg.jp

受付時間 平日8:30~17:15
(土・日・祝日・年末年始は休み)

